

全壊・大規模半壊・中規模半壊・半壊・準半壊・一部損壊

罹災証明書の種類



## 聞き取り後の進め方

**1** 現在の生活場所（左上）を記入し、又は該当するカードを貼る。次に、現在の貯蓄額（右下）を書く

**2** 修理？建替え？転居などを考える上で、大切にしたいライフスタイルカードを2枚選び、台紙の右側に貼る

**3** 選んだライフスタイルカードをもとに最終的な住まいを決定し、住まいカード等を台紙左下に貼るか、書く

**4** 決定した住まい（修理・建替・購入・賃借など）の為に使える生活再建カードを全て貼り、上に金額を書く

**5** 最終合計金額（右下）を書く。この金額が、決めた「最終的な住まい」の実現のために使える最大の金額

<p><b>金額記入</b> →</p> <p>今の生活場所 住まいカード、避難所等をここに貼るか以下に記入する</p>	<p>費用無料</p> <p>ボランティア・専門家支援</p> <p>*家の片付け・泥出し・ペット・移動支援、生活相談など様々なお困りごとに</p>	<p>万円</p> <p>応急修理制度</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *対象：準半壊～ *使うと修理後は「応急仮設住宅」に入れず、「公費解体」も使えない</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 基礎支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体もある） *対象：被災者支援カードを参照</p>	<p>万円</p> <p>火災（地震）保険・共済</p> <p>*今回の災害で使える保険に入っている人 *水害の場合、火災保険の水災特約の加入の有無に注意</p>	<p>万円</p> <p>自由なアイデアカード</p> <p>*生活再建のために使えるアイデアを自由に記入する</p>	<p>① 合計 万円</p> <p>ライフスタイルカード 1枚目をここに貼る</p>
<p><b>金額記入</b> →</p> <p>次の生活場所 仮設住宅などをここに貼るか、以下に記入する</p>	<p>万円</p> <p>義援金</p> <p>*家族の死亡や罹災証明書の判定などで配分される *何回かにわけて配分されることもある</p>	<p>万円</p> <p>自治体の独自支援</p> <p>*自治体ごとに独自の支援措置は異なる。常に自治体のホームページなどをチェック</p>	<p>万円</p> <p>災害弔慰金</p> <p>*災害時の家族の死亡や、避難生活が原因で家族が死亡（災害関連死）した場合などに申請</p>	<p>万円</p> <p>災害援護資金貸付</p> <p>*災害救助法の適用が必要 *半壊以上、1か月以上の負傷、家財損害などで利用可 *所得による利用制限あり</p>	<p>税金還付</p> <p>雑損控除（災害減免法）</p> <p>*所得税・住民税の納税者が対象 *保険でカバーできない住居・家財・車両・墓などの損失がある場合</p>	<p>② 合計 万円</p> <p>ライフスタイルカード 2枚目をここに貼る</p>
<p><b>金額記入</b> →</p> <p>最終的な住まい 住まいカード等をここに貼るか、以下に記入する</p>	<p>解体費無料</p> <p>公費解体</p> <p>*原則全壊の建物（一部事業者も）が対象。 *特定非常災害の指定や自治体判断で、半壊以上に対象拡大されることも</p>	<p>万円</p> <p>被災者生活再建支援金 加算支援金</p> <p>*被災者生活再建支援法の適用が必要（同等の制度がある自治体もある） *対象：被災者支援カードを参照</p>	<p>借金の減免</p> <p>被災ローン減免制度</p> <p>*災害救助法が適用された災害で個人のローン返済が難しくなった方 *自己破産よりメリット複数あり</p>	<p>万円</p> <p>リバースモーゲージ型融資（右の融資の高齢者返済特例）</p> <p>*60歳以上が対象 *必要な罹災証明は左と同じ *不動産の評価の6割まで借入可</p>	<p>万円</p> <p>災害復興住宅融資</p> <p>*親子リレーローンで親子での借入れの選択肢も *建設・購入は半壊以上、補修は一部損壊以上の罹災証明が必要</p>	<p>③ 合計 万円</p> <p>④ 現在の貯蓄額 万円</p> <p>①～④の合計額を記入 最終合計 万円</p>